

「キャンプ安全の日」

7/16

Camping Safety 2023

全国一斉キャンペーン 7/1～8/31

アウトドアシーズンを安全に過ごすための情報公開中

今年も夏のキャンプシーズンがやってきました。新型コロナウイルス感染症の様相は推移しつつありますが、実情に即した感染対策を実施していくとともに、感染症以外のリスクにも目を向けながらキャンプを楽しみたいものですね。
日本キャンプ協会では、毎年7月の第3日曜日、今年は7月16日を「キャンプ安全の日」と定めています。安全に関するさまざまな情報を発信し、安全で楽しいキャンプにつなげていきたいと考えています。力を合わせて「キャンプの安全」をつくり上げていきましょう。

Episode1: キャンプで具合が悪くなった時

▲「朝起きたら熱がある!」「ぜんそくの発作なのかな?」「熱はないのに元気がなくてぐったりしている…。」キャンプはいつもと異なる環境や気候の影響で、体調を崩してしまうことが多くあります。
子どもをすぐに病院に連れていくか? 救急車を呼ぶか?
緊急性あり? or なし? 判断のポイントについて解説します。



Episode2: 法的な視点からの事故分析

▲ 2010年7月、佐賀県伊万里市内でキャンプに参加していた当時小学3年生の男の子が川で溺れ死亡するという痛ましい事故が起こりました。本事故では、キャンプ運営者側の計5名が業務上過失致死罪で起訴され、一審では内2名が有罪判決を受けました（その後、控訴審で無罪）。

悲しい事故を防ぐために、キャンプに関わる全ての人にとって、過去の事例から学び安全に関する適切な準備を行うことは大変重要です。

今回は、実際の裁判の中で本事故がどのように分析されたのか、法的な視点から解説します。

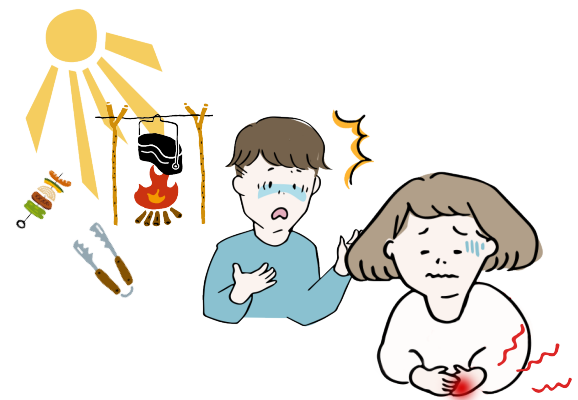


Episode3: 思わぬケガにご用心!

▲ この夏、コロナ禍で控えていた活動を再開する指導者も多いと思います。

キャンプが活気づいてくることはとてもうれしいことですが、同時に大きな事故やケガのリスクが増える可能性もあります。特に最近では、以前は起こりにくかった事故や思わぬケガが増えているという声が上がっています。

久しぶりにキャンプを指導する際、一体どのような点に気を付ければよいのでしょうか?



※各 Episode の詳細はこちらから

<https://camping.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/06/episode1.2.3.pdf>

日本キャンプ協会 安全対策委員会

